

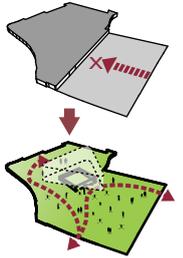
緩やかに傾斜するランドフォームに浮かぶ庁舎。深い奥行きのあるピロティは四季を通じて様々な活用される



不定形敷地の中央に三角形平面の庁舎を配置している

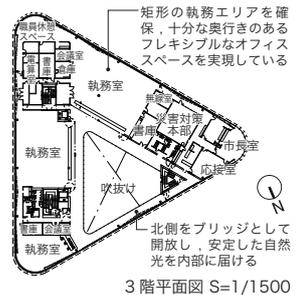
日常/非日常の居場所を生むランドフォーム

約 2.5m の段差で 2 つのレベルに分断されていた既存敷地に対し、東西方向に緩やかに勾配を設けて全体をひとつながりにする提案とした。平賀駅前通りをはじめとする周辺道路のどこからでも敷地内にアクセスできる計画とし、敷地北西の交差点から連続する広場を手掛かりに、まちのスケールに寄り添った居場所を生み出すことを意図している。



不定形な敷地のポテンシャルを最大化する三角形平面

敷地の中央に正三角形をベースとした平面形の庁舎を配置し、敷地東側に整形の駐車場を確保、北西側を広場として活用している。三角形の3辺のうち2辺に十分な奥行きを与えてフレキシブルな執務環境を構築し、残りの1辺は吹き抜け空間と一体化させて安定した自然採光に寄与するよう配慮した。執務スペースはシンプルな矩形平面の無柱空間とし、三角形の頂点部分に生まれる特徴的な余白空間は市民利用スペースなどに活用している。



3階平面図 S=1/1500



上階のオフィスエリアも見渡すことができる大きな吹き抜け空間



最上階の「ひらかわらうんじ」から岩木山を望む



周辺環境の関係、遠く北西に岩木山を望む

建物概要

建築名称	平川市新本庁舎
発注者	平川市
用途	庁舎
所在地	青森県平川市柏木町藤山 25-6
設計監理	建築 NASCA・八洲・構設計共同企業体
	構造 庁舎棟：Arup
	車庫棟：星野建築構造設計事務所
電気設備	Arup
機械設備	Arup
サイン	寺澤事務所・工房
防災計画	明野設備研究所
ランドスケープ	設計組織プレイスメディア
施工	1期工事 清水建設株式会社東北支店
	2期工事 株式会社乗田建設
構造	庁舎棟 鉄骨造(免震構造)・地上4階
	車庫棟 鉄骨造(耐震構造)・地上2階
敷地面積	22,642.33 m ²
建築面積	庁舎棟 2,687.08 m ²
	車庫棟 881.71 m ²
延床面積	庁舎棟 8,120.25 m ²
	車庫棟 1,759.56 m ²
設計期間	2017年10月～2020年3月
工事期間	2020年9月～2024年10月
撮影	浅川 敏(※1) 小椋裕一(※2)